

市街地を周遊するきくちべんりカーの車内。知らない乗客同士でも挨拶や日常会話が飛びかう、のどかな時間が流れる

●特集● あいのりタクシーときくちべんりカー

地域を結ぶ

「病院に、買い物でしょ。これのおかげで生活ができていますの」「車の運転はしなくなったけど、街まで出ることが出来る。本当に助かつとるよ」

公共交通は、市民の生活を支える大事な移動手段。本市では路線バスに加え、「きくちべんりカー」、「あいのりタクシー」が運行しています。菊池の交通の現状を追いました。

【問い合わせ先】

企画振興課 ☎0968(25)7250



あいのりタクシーときくちべんりカー

交通弱者を救う 交通システム

かつて鉄道や路線バスが主な手段だった本市の公共交通。昭和の終わり頃から転換期を迎え、平成に入り新たな交通体系が誕生しました。新交通システムの導入経緯や歩みなどを振り返ります。

公共交通の空白地域を 作らない

山あいの水源地区。平成16年に路線バスが廃止され、多くの住民が車に頼る生活をしています。運転できない人にとって公共交通は日常生活の生命線。住民の森美智子さん（原細永）は「安価で病院や買い物に行けるあいのりタクシーの存在は大きい。本当に助かっています」と話します。

かつて本市は熊本電気鉄道菊池線が市街地まで走り、山あいの集落には路線バスが運行していました。「昔は地域に商店もあり、バスも廃止前でした。日常生活に問題はなかった」と森さんは振り返りますが、近年は家用車の普及や過疎化などで公共交通の利用者が減少。昭和61年には市内を走る電車が廃線になり、平成に入ると路線バスも縮小されました。

本市に路線を持つ九州産交バス株式会社の佐藤正直さんは「多くの地方都市でバスの利用者は減り続けています。

採算を考えると、とても厳しいです」と実情を説明します。

平成16年に、市の交通体系は大きく改革されました。中山間地を走る路線バスの廃止が決まり、代替交通として市内のタクシー事業者による「あいのりタクシー」が8月にスタート。また、先だつた6月には熊本電鉄の運行で市街地を走る「きくちべんりカー」が始動しました。

当時、交通体系の再編を担当した笹本聖一係長（現社会体育課）は「中山間地の路線バスは、停留所が遠くて利用をためらう人も多かった。でも、あいのりタクシーは自宅前で乗り降りが可能。中山間地の公共交通空白地帯が解消されました」と話します。

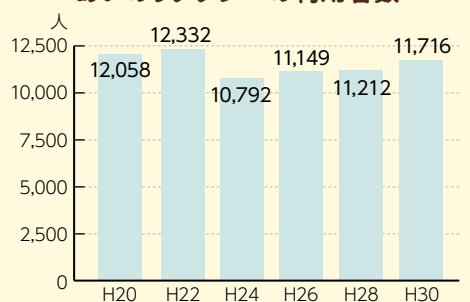
また、べんりカーについて「路線バスより停留所が多いので、よりバス停が近くなった人も多い。市街地でも、停留所まで距離があり外出が難しい人もいた。べんりカーによって市街地の交通弱者を助ける効果もありました」と説明します。

地域の交通手段を乗って残す

べんりカーは平成20年には利用者が10万人を突破。平成22年にはべんりカーとあいのりタクシーの交通体系が評価され国土交通大臣表彰を受賞しています。

安価で市内の交通を助ける、あいのりタクシーときくちべんりカー。交通が弱い中山間地の人口は減少していますが、利用者は横ばいとなっており、人口との割合を考えると利用率は微増しています。笹本係長は「せっかくの地域の交通手段なので積極的に活用してほしい」と呼びかけます。

あいのりタクシーの利用者数



地域とまちなかを結ぶ

あいのり タクシー

中山間地や郊外といった公共交通の空白地帯と市街地を結びます。水源、龍門、七城、旭志東部、泗水西部、泗水東部の6路線が運行しています。



キクチ観光タクシー



菊熊タクシー



一真タクシー



泗水タクシー

買い物や病院といった日常的な利用だけでなく、鳳来地区にある聖護寺の参拝に使う人もいるそう。また、土日は観光あいのりタクシーの菊池深谷線、竜門ダム線、鞠智城線が運行しており、ハイキングや写真撮影といった目的の利用者もいます。

「買物や病院といった日常的な利用だけでなく、鳳来地区にある聖護寺の参拝に使う人もいるそう。また、土日は観光あいのりタクシーの菊池深谷線、竜門ダム線、鞠智城線が運行しており、ハイキングや写真撮影といった目的の利用者もいます。」

運行は平日のみで、利用には事前の電話予約が必要。同じ方面に向かう利用者を乗せる相乗り方式で、乗降の区域は決まっていますが、通常のタクシーより安い料金設定になっています。各路線とも1日4便が運行（下記参照）。上記の市内4事業者が協力し、持ち回りで各地域を担当しています。

運

行は平日のみで、利用には事前の電話予約が必要。同じ方面に向かう利用者を乗せる相乗り方式で、乗降の区域は決まっていますが、通常のタクシーより安い料金設定になっています。各路線とも1日4便が運行（下記参照）。上記の市内4事業者が協力し、持ち回りで各地域を担当しています。

運行曜日 月曜日～金曜日

運行地域

水源地域、龍門地域、七城地域、旭志東部地域、泗水西部地域、泗水東部地域

料金 片道 200円～1,200円

※区域により異なります。

利用案内

- 1 自分1人の予約だけでどなたでも利用できます。
- 2 予約をしていないと利用できません。
- 3 キャンセルや予約の変更は、必ず連絡をしてください。
- 4 市街地行き・各地域行きの便は、自宅の玄関先まで送り迎えします。
- 5 行き先によって乗車するタクシーが違う場合があります。乗務員の指示に従ってください。

出発時間と予約受付時間一覧 ※前日の予約時間は16:00～19:00です。

▼水源地域線、龍門地域線、旭志東部地域線

目的地	第1便	第2便	第3便	第4便
市街地 など	予約時間 前日のみ	7:00～9:00	7:00～11:00	7:00～13:00
	運行時間	8:00～8:30	10:00～10:30	12:00～12:30
			14:00～14:30	

▼七城地域線

目的地	第1便	第2便	第3便	第4便
市街地 など	予約時間 前日のみ	7:00～9:00	7:00～11:00	7:00～13:00
	運行時間	8:30～9:00	10:30～11:00	12:30～13:00
			14:30～15:00	

▼泗水西部地域線、泗水東部地域線

目的地	第1便	第2便	第3便	第4便
市街地 など	予約時間 前日のみ	7:00～9:30	7:00～11:30	7:00～13:00
	運行時間	8:30～9:00	10:30～11:00	12:30～13:00
			14:30～15:00	

▼水源地域線、龍門地域線、旭志東部地域線、泗水西部地域線、泗水東部地域線、七城地域線

目的地	第1便	第2便	第3便	第4便
自宅	予約時間 7:00～10:00	7:00～12:00	7:00～13:30	7:00～15:00
	運行時間	11:00～11:10	13:00～13:10	15:00～15:10
			16:30～16:40	

予約センターの声



宮崎芳雄さん(富納)

お客さまからの電話を受けて、各タクシー会社に予約を配分。センターは3人で担当し、顧客データを管理しています。電話のみのやりとりなので相手の顔は見えないけれど、「助かっていて」「いつもありがとう」という声を聞くとうれいいます。

予約センター

水源地域線、七城地域線 ☎0968(26)5011
 龍門地域線、旭志東部地域線 ☎0968(26)5022
 泗水西部地域線、泗水東部地域線 ☎0968(38)0411

市街地巡回バス

きくち べんりカー

市街地を環状ルートで巡回。直線的に走る路線バスを補完する役割があり、従来の路線バスと比べてより細かい移動が可能です。



が将来自立して生活できるよ
う、施設の授業の一環として
バスの乗車方法の勉強に利用
した例もありました。市街地
を網羅しておりバス停間の距
離が近いため、べんりカーか
ら一般の路線バスの停留所ま
で乗車し、乗り換えに利用す
る人もいます。

運行する熊本電気鉄道株式
会社の坂本昭文乗合事業部長
は「地域交通手段として機能
している。市と連携して現場
の意見を取り入れ、これから
もみんなで育てていくことが
できれば」と説明します。
買い物や病院に行く高齢者
だけでなく、通勤、友人との
食事会、アルバイトに行く学
生、美容院、温泉など利用は
さまざま。支援が必要な児童

菊 池プラザを拠点に東回り
と西回りのコースがあり、
1日6便が市街地を巡回。約
1時間半で1周します。距離
に関係なく1回100円で乗
車が可能。日曜や祝日、年末
年始は運休です。

利用者の声



山城雅子さん(袈裟尾)

週に2回ほど買い物で利用
しています。温泉や銀行
に行くときも便利なので、とても
重宝しています。バスの乗客は
名前も家も知らないけれど、顔
を合わせれば話が弾みます。一
人で家にこもっているより健康
的だし、バスに乗ること自体も楽
しいですね。



まちなかで下車する山城さん。買い物のため他にも多くの人が利用する

運行曜日 月曜日～土曜日

※(日)・(祝)・振替休日・年末年始(12月31日～1月2日)は運休します。

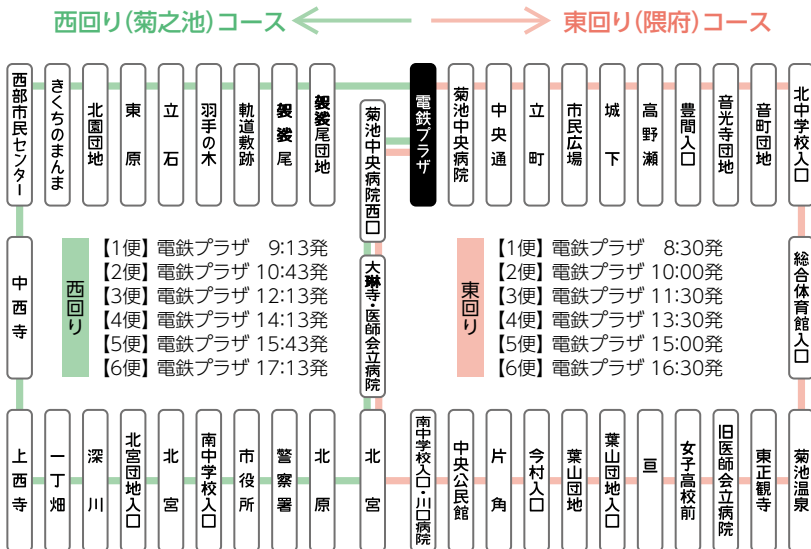
料金 1乗車 100円

子ども、身障者手帳・療育手帳をお持ちの人、介護者は50円。

利用案内

- 1 東回りコースと西回りコースを交互に運行します。
- 2 コースが変わっても、引き続き乗車できます。

路線図





「夫婦で毎週使っています」

夫婦で利用している本山さん夫妻。使い始めたきっかけや目的、感想などを聞いてみました。

病院と買い物に利用

利用のきっかけは約2年前に夫の正和さんの目が悪くなり、遠方への運転ができなくなったことでした。妻の義子さんは運転免許を持っていません。義子さんは「病院や整骨院には、夫婦で毎週通う必要があります。バスは廃止されていたので、あいのりタクシーを使いはじめました」と説明します。

整骨院の診察が終わった後、義子さんは買い物のため一人でスーパーへ。足が悪い正和さんは整骨院で待機します。「他のあいのりタクシーの利用者も待合室にいるので、世間話をして発車時刻まで待つ」とよ。正和さんは整骨院からあいのりタクシーに乗車。スーパーで義子さんが合流し、帰路につきます。



もとやま よしこ 本山義子さん(左) まさかず 正和さん(右) (孤入)

趣味も続けられ、充実の日々

病院と買い物が必要な利用ですが、義子さんにはもうひとつ大事な用事が。「七城中学校の陶芸教室に通っているの。あいのりタクシーが無かったら趣味は諦めなきゃいけなかったかもしれません」友人にも、あいのりタクシーを教えたそう。「便利な生活が維持できているのは、あいのりタクシーがあるから。本当に感謝しています」と二人は声を揃えました。

運転手の声



熊本電気鉄道
下村征市さん(阿蘇市)

週 4日運転を担当しています。高齢のお客様が多いので、ゆっくり安全に乗降できるよう少し長めに停車するなど工夫しています。待っている人のため、これからも安全運転を心掛けていきます。

運転手の声



キクチ観光タクシー
笹原友子さん(大琳寺)

気 持ちよく利用してもらえよう、元気ある挨拶を心がけています。体が悪い人も多いので、買い物の荷物を持ってあげることも。「あなたが来てくれてよかった」の言葉がうれしいです。

担当者の声

「多くの人に利用してほしい」

あいのりタクシーときくちべんりカーは、運用から15年を迎えました。7月にあいのりタクシーの予約時間を延長、10月には増便を行いました。利用者の意見をもとにエリア拡大や時刻変更など、試行錯誤し改善を進めています。

この事業は市の補助金をもとに、地域の事業者の協力により成り立っています。生活に欠かせない買い物や病院だけでなく、趣味や娯楽など利用の幅も広がっています。多くの世代の皆さまにもっと使っていただきたいので、気軽にご利用ください。

あいのりタクシーは、利用方法や料金など詳細は地域によって異なります。10月の広報と一緒に配布した別紙の利用案内や、市のホームページなどを参照していただけたいと思います。不明な点があれば、気軽にお尋ねください。



あいのりタクシーの利用案内

企画振興課地域振興係
なか がわ けい ぞう
中川敬三係長



市民を支える公共交通

高齢化や人口減少が進み、公共交通の需要は今後も高まります。しかし、あいのりタクシーときくちべんりカーは、まだ十分に認知されていない現状もあります。

必要な人に制度の周知を

近年、全国の多くの都市で高齢化や人口減少が進み、採算に合わない公共交通の縮小が続いています。中川係長は「住民が安心して日常生活を送るためにも、市民の交通手段を支える公共交通は必要です。いざ運転ができなくなつた際、公共交通の空白地帯で生活が立ち行かなくなる地域があつてはいけない」と説明します。

高齢者の免許返納や独居者の増加などで、公共交通を必要とする人は今後も増え続けると予想されています。「あいのりタクシーやべんりカーをまだ知らない市民もおられます。潜在的な利用者は多くいるはず。今後も定期的に周知して、利用者を増やしていきたいですね」

人のつながりも

取材で見えたのは、公共交通を通してできた人のつながり。きくちべんりカーではバ

スで知り合い顔見知りになつた人たちも多く、停留所でも病院?」「久しぶりだけど、体調は大丈夫?」といった会話が飛び交っていました。「べんりカーに乗るようになって、お友達もできました」と笑顔になるのは岩崎イツエさん(片角)。「助かっているのはもちろんだけど、遠出もできるので世界が広がりました。まさに冒険気分です」

市民の交通手段を支えるために。あいのりタクシーときくちべんりカーは、これからも走り続けます。



多くの人利用する葉山団地のきくちべんりカーのバス停。住民の貴重な交通手段となっている